

SC-61. クリア・ザ・ボード対策

“Muddying the board”

by Lary Faris

抄訳 薩川俊三

クリア・ザ・ボードはシャフルボードの基本的な攻撃だ。後攻のプレイヤーは、相手が置いたガード・ディスクの側面を突いて、自分と目標のディスクの両方をコートから弾き出す。先攻のプレイヤーは、ガード・ディスクを置き続けて、相手がクリア・ミスをするのを望むだけだ。後攻のプレイヤーは、このフレームの最後に、ハンマーを殆どオープンのコートに得点する。

しかし、先攻のプレイヤーに、全く武器が無いわけではない。相手のクリアするプレーを難しくさせて、置いたディスクを残させる多くの戦法がある。「クリア・ザ・ボード対策」の戦法を「マディイニング・ザ・ボード（コート上を混乱させる）」と名付けて紹介する。

後攻のプレイヤーのクリア・シュートを難しくする戦法の一つは、ガード・ディスクを置く場所を転々と変えることだ。セントピート置き続けて、全て弾き出されたら、置く位置を少し変える。例えば、セントピートの左端をヒットされたら、次のセントピートを少し右に置く。もし相手が前と同じ方向にシュートすると、失敗するかも知れない。

セントピートの位置を、左、右、深く、浅くと、変化させる戦法がある。野球のピッチャーが内側、外側、高く、低くと、投球を変えるのと同様だ。先攻のプレイヤーの多くが、セントピート2つ置き、それからタンパを置く。タンパに変えると、後攻プレイヤーがクリア・ミスをするのがよくある。

ディスクを置くベースを変える戦法もある。最初の2つのディスクを通常のペースで、第3ディスクを非常に速く置くと、後攻プレイヤーが、先攻プレイヤーのペースに巻き込まれてミスをする可能性がある。

私は、クリア・ザ・ボードが上手なプレイヤーに対して、ペースを速くする。相手が私のディスクをクリアしたら、私は直ぐに次のディスクをシュートする。相手は次第に私のシュートのペースに巻き込まれて、シュートするのが速くなる。相手はこの速いペースを続けて、疲れて、ミスをし始めることがある。

「あなたは決してミスをしなさいですね」などと、相手の心を乱すことを言うのは、スポーツマンシップに反するので止めよう。

「あなたは決してミスをしなさいですね」などと、相手の心を乱すことを言うのは、スポーツマンシップに反するので止めよう。

図は、後攻のプレイヤーのクリア・ミスでボード上に残ったディスクを利用する方法の紹介だ。クリアされたセントピートが、コート端側に少し動いた場合は、次のセントピートを、その残ったディスクの内側の少し手前に置くと、後攻のプレイヤーのクリア・ショットを非常に難しくする。

（訳者注：米国トッププロ Lary Faris が新聞に連載。” Shuffleboard Coach” 抄訳）

